



2023年6月5日

各位

MCP アセット・マネジメント株式会社
代表取締役社長 田中徹也

脱炭素化ベンチャー支援ファンド・オブ・ファンズ投資事業有限責任組合
(通称: 脱炭素化 VC FOF)の投資実行のお知らせ

弊社が運営する「脱炭素化ベンチャー支援ファンド・オブ・ファンズ投資事業有限責任組合」(通称: 脱炭素化 VC FOF、以下、「本 FOFs」)は、第一号投資案件として、ANRI が運営する ANRI-GREEN1号(以下、本ファンド)に出資コミットを行いましたので、お知らせ致します。

【案件の概要】

名称	ANRI-GREEN1号投資事業有限責任組合
出資コミットメント日	2023年5月31日
無限責任組合員(GP)	ANRI-GREEN1有限責任事業組合
ファンド・サイズ	100億円(目標)
本 FOFs の出資金額	10億円

本ファンドを運営する ANRI(<https://anri.vc/>)は、佐俣アンリ氏が2012年に設立した、スタートアップの創業期(シード・ステージ)に投資する独立系ベンチャー・キャピタル・ファームです。ANRIは、社会が抱えている課題の解決を目指しており、投資領域をインターネット系からディープテック系(研究開発型)に拡大して投資を積み上げ、気候変動・環境問題に特化した本ファンドを新たに立ち上げました。

本ファンドは、ANRI ジェネラル・パートナーである鮫島昌弘氏が牽引し、ディープテック領域のなかでも脱炭素化に直接貢献するスタートアップのプレシード/シード・ステージで投資を行います。イノベーションを起こしうる脱炭素領域のディープテック系の優れた技術シーズを事業化し、日本からグローバルに戦える企業を創出することを企図しています。



本 FOFs は、豊富なファンド投資経験を活かして、特に機関投資家の観点から、様々な助言を行い本ファンドの運営を支援してまいります。また、本 FOFs のグローバルネットワークを適宜提供し、投資先企業の海外展開を支援してまいります。

【本 FOFs(脱炭素化ベンチャー支援ファンド・オブ・ファンズ投資事業有限責任組合)について】

本 FOFs は、2022 年 12 月に東京都による 60 億円の出資により設立されたファンド・オブ・ファンズです。2050 年ネット・ゼロに向けて気候変動問題解決に取り組むスタートアップ企業を支援するために脱炭素化をテーマとしたベンチャー・キャピタル・ファンド等へ出資を行います。

本ファンドは 3 年間で少なくとも 4 ファンド以上への投資を行い、それらのファンド投資を通じて多様な分野の気候変動問題の解決に貢献する技術・サービスを開発するスタートアップ企業を支援し、グローバル市場で競争力のあるスタートアップ企業を東京から産み出すことを目指します。また、本 FOFs では新たにファンド運営を開始する新興マネージャーの育成・サポートにも力を入れる所存です。本 FOFs は投資先ファンドのマネージャーに対して様々なサポートを行うと同時に、投資先ファンドのマネージャーおよびそれらの投資先企業と協働してインパクトを測定する仕組みを構築し、その達成状況に関して「インパクト・レポート」などの形で情報を発信致します。

(本 FOFs のウェブサイト: <https://www.tokyo-vc-fof.jp/#>)

(お問い合わせ先)

脱炭素化ベンチャー支援ファンド・オブ・ファンズ vci-ops@mcp-am.com

MCP アセット・マネジメント株式会社 (代表)03-3517-8800